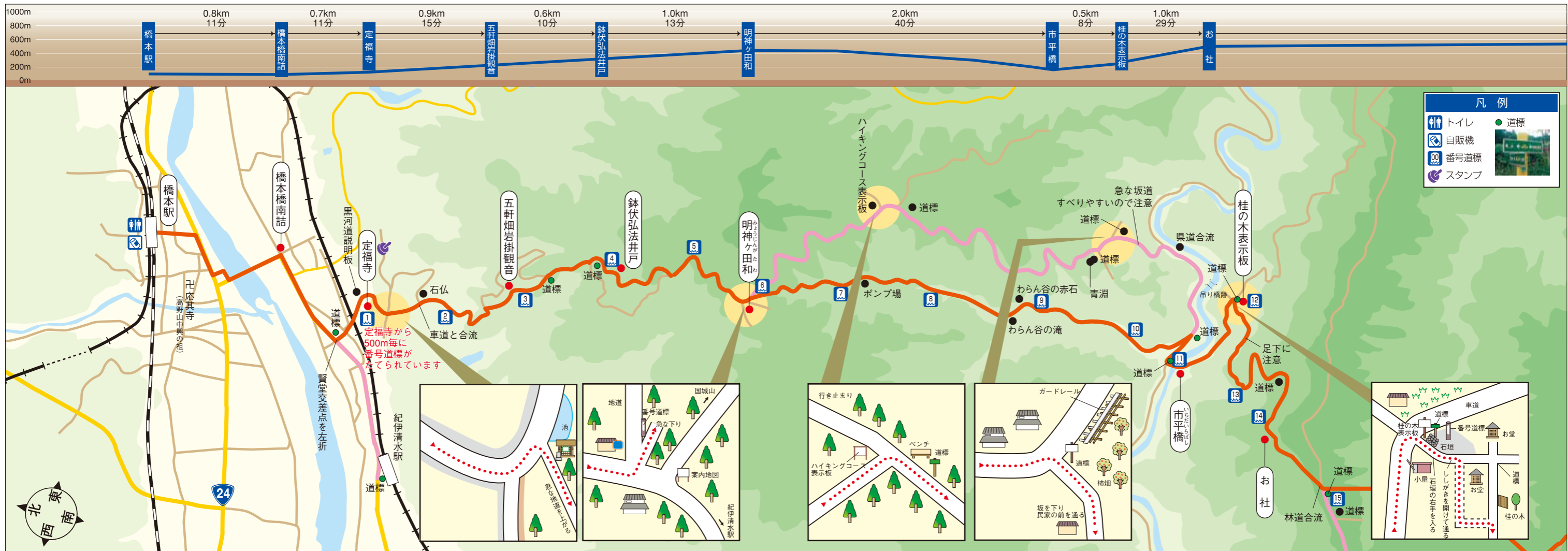


【高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町)】①

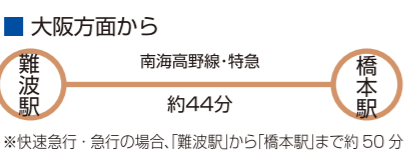
歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

橋本市からほぼ真南に高野山をめざす健脚ルート。
いくつかの集落・集落跡を通り、女人道の通る黒河峠をめざします。



スタート地点までのアクセス

大阪方面からは、南海高野線「難波駅」を起点に特急、快速急行又は急行にて「橋本駅」へ。または、JR和歌山線で「橋本駅」へ。



南海高野線 特急こうや停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日月町、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

上市平の吊り橋

県道合流直後に、和歌山県の名勝にも指定されている「玉川峡」に昭和30年頃架設された吊り橋がありました。老朽化により、平成25年より通行禁止となり、約500m下流の市平橋に迂回することになりますが、この吊り橋は半世紀以上にわたり周辺住民の暮らしと、道行く人々を支えてきました。吊り橋の真下通常水面上2m位の所に、旧橋の痕跡があり、川への降り口には2体の地蔵さんが祀られています。

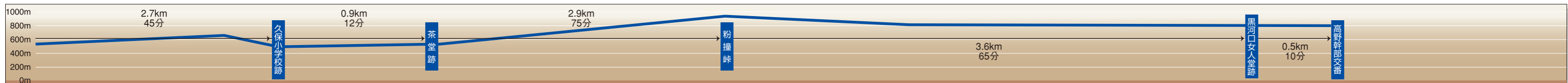
桂の木

市平集落の氏神社「春日神社」に、九度山町指定文化財の「桂の木」があります。カツラ科の雌株一本で、樹高35m、胸高直径1.1m、根の回り約8m、樹齢推定で300年以上の大木。明治初期の頃、この付近に18本のカツラの木が林立し、荘厳な景観を誇っていました。この木の特徴は、四季おりおり葉の色が7色に変わり、近郷住民は農耕暦の尺度として、この木を大切に守り育ててきました。

【高野参詣道黒河道 橋本駅(橋本市)～高野幹部交番(高野町)】②

歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間44分
標準所要時間 7時間35分

当ルートのご案内(ガイド)についてのお問い合わせは、高野町産業観光課 ☎0736-56-3000
橋本市観光協会 ☎0736-33-3552 九度山町観光協会 ☎0736-54-2019



ひとくちメモ

高野山内は、点在する見所を、時間をかけてじっくり歩きたいものです。散策した日は、宿坊で宿泊のうえ、朝から参拝し歩いた方が、より高野山の奥深さを味わっていただけることでしょう。

山内では、現在52カ寺が宿坊寺院としてご利用いただけます。それぞれに特色があり、美しいお庭の鑑賞、修行僧が配膳してくれる精進料理、本堂での早朝勤行など、日常とは異なった時間をお過ごしいただけることでしょう。

お問い合わせ：高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616

- ### 凡例
- トイレ
 - バス停
 - 道標
 - 公衆電話
 - 番号道標
 - 自販機
 - スタンプ
 - 土産販売所



標準の歩行記録 (参考行程：見学時間等を含む)

橋本駅	定福寺	明神ヶ田和	市平橋	桂の木表示板	お社
9:00	9:22	9:30	10:08	10:20	11:00
	(休憩)	(休憩)	(休憩)	(桂の木付近で昼食)	(休憩)
11:15	11:20	12:00	12:29	12:40	
			(休憩)		
久保小学校跡	茶堂跡	粉撞峠	黒河口女人堂跡	高野幹部交番	
13:25	13:35	13:37	13:45	15:00	15:10
(休憩)	(休憩)	(休憩)	(休憩)	(休憩)	(休憩)

粉撞地蔵

古来、久保からは、仏谷を経て楊柳山東側の黒河峠に至るルートと、雪池山と楊柳山の西側を粉撞峠に至るルートがありました。

粉撞峠に祀られている粉撞地蔵は、平成23年に、室町時代(1512年)に金剛峯寺座主の建立したものと確認され、高野山の結界を示す道標であったと見られています。

お帰りは

南海りんかんバス「高野警察前」バス停より「高野山駅」へ。
「高野山駅」からは、ケーブルカー「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」より南海高野線・特急「難波駅」へ。

高野山警察前 約9分
高野山駅 約5分
極楽橋駅 約1時間20分
難波駅

※快速急行・急行の場合、「極楽橋駅」から「難波駅」まで約1時間35分



街道マップ「高野参詣道黒河道」橋本駅～高野幹部交番②

大峰道(P12)